

講座 3	世界のエネルギー・資源を巡るカオスー日本の進むべき道を探る			オンライン併用
	【会場定員】96名 【オンライン定員】100名		【受講料】2年会員5,720円 1年会員6,435円 聴講生8,580円	
	『政治・経済・社会』現代事情		【時間】毎回10時30分～12時00分(計6回)	
概要	世界人口爆発そして気候変動というかつてない試練に直面し、エネルギー・資源を巡る世界の争いは、カオスとも言える状況に陥りつつある。本講座では、世界のエネルギー及び資源に関わる状況を俯瞰し、自前資源に乏しい日本が、進むべき道を探る。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/17(月)	川崎市 生涯学習 プラザ	パリ協定がめざすアジェンダとエネルギー資源の混迷	日本経済新聞社 シニアライター 山下 真一
2	5/15(月)		脱炭素社会に向けた化石燃料の役割Ⅰ	早稲田大学教授 栗原 正典
3	5/29(月)		脱炭素社会に向けた化石燃料の役割Ⅱ	東京大学名誉教授 松本 良
4	6/12(月)		金属資源・希少金属資源を巡るカオス	東京大学名誉教授/国際資源開発研修 センター顧問 浦辺 徹郎
5	6/19(月)		日本の気候変動対策の今後について ー原子力の可能性も含めてー	早稲田大学教授/前環境事務次官 森本英香
6	7/10(月)		資源開発か、環境保護か、二元論の行方	日本経済新聞社 シニアライター 山下 真一